

第2回宮崎県教科用図書選定審議会 会議概要

- 1 日時
令和4年5月27日（金） 午前10時00分から10時45分まで
- 2 場所
宮崎県防災庁舎 防52、53号室
- 3 出席者
 - (1) 委員（20名出席）
満園真由美委員、黒木倫徳委員、南真紀子委員、須見かおる委員、多田展之委員、上杉可奈子委員、仲家孝委員、山下辰弥委員、黒木知佳委員、明松美佳委員、高松泰委員、細山田修委員、寺田菜穂子委員、立元真委員、田宮昌子委員、山下勉委員、矢野三千宏委員、岡本吉弘委員、松本祐子委員、山川文恵委員
 - (2) 事務局
義務教育課長、義務教育課課長補佐、
義務教育課主幹（義務教育・学力向上第一、第二担当）
義務教育課副主幹（義務教育・学力向上第一担当）
義務教育課指導主事（義務教育・学力向上第一、第二担当）
特別支援教育課副主幹（指導担当）
特別支援教育課指導主事（指導担当）
- 4 議事内容
 - (1) 会長あいさつ
 - (2) 議事
○令和4年度宮崎県教科用図書選定審議会の答申について
 - ・ 事務局からの提案
 - ・ 質疑及び審議
 - (3) その他
 - (4) 県教育委員会あいさつ
- 5 要旨
○ 義務教育課主幹が令和4年度答申案及び今後の導入が予想される学習者用デジタル教科書についての情報収集、提供に努めることについて説明し、質疑及び審議が行われた。
- 6 主な質疑及び審議内容
令和4年度宮崎県教科用図書選定審議会の答申について
質疑： 小学校は令和元年度、中学校は令和2年度に採択した教科書を使用するとありますが、社会情勢は変化しています。同じ教科書を採択することが適切でしょうか。
回答： 社会情勢は変化していますが、国の方針に基づいて4年に1回の採択替えを行っています。
質疑： 令和3年度と令和4年度の答申を見比べると、記載事項や項目が大きく異なりますが、その理由を教えてください。
回答： 昨年度は、一教科の採択替えがあったので調査研究についての記載をしていますが、今年度はそれがなため記載していません。
質疑： 昨年度は、調査研究が行われました。しかし、今年度は調査研究が行われませ

るので、文言の違いがあるという理解でよろしいでしょうか。

回答： 委員のおっしゃるとおり、今年度は調査研究が行われないため昨年度とは異なっています。

意見： 答申案も一見してそのことが分かるようにしていただきたいと思います。

質疑： 令和3年度は調査研究が行われたので、答申の「1（1）」は「採択について」とし、今年度は採択替えがないので、答申案「1（1）」を「採択の在り方について」としたという理解でよいでしょうか。

回答： 令和4年度は採択替えがないので、同じく採択替えがなかった平成28年度の答申を参考にしています。委員のご指摘のとおり、見出しが変わったということです。

意見： 答申案の修正については、会長に一任し、6月1日（水）に県教育委員会に届けることとします。

全会一致で承認